

製品安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

製品名 カルムーンシート 船舶用 305K58
会社名 積水化学工業株式会社
所在地 東京都港区虎ノ門2-10-4
担当部署 環境ライフラインカンパニー 機能材事業部
電話番号 03-6748-6491
FAX番号 03-6748-6565
作成年月日 令和4年3月7日

2. 組成・成分情報

単一製品・混合物の区別	混合物
構成	・ 溶融亜鉛-アルミ-マグネシウムメッキ鋼板 ・ 塩素化ポリエチレン系粘着材 塩素化ポリエチレン、可塑剤、粘着付与剤 充填剤、安定剤等の混合組成物 ・ シリコーン処理紙

3. 危険有害性の要約

最重要危険有害性及び影響	危険有害性の分類基準に該当しない
人の健康に対する有害な影響	知見なし
環境への影響	知見なし
特定の危険有害性	常温では引火しないが、燃焼時には分解して塩酸ガス及び炭素酸化物を発生する

4. 応急処置

吸入した場合	吸入の可能性なし
皮膚に付着した場合	ゆっくりと剥がし、その後水洗いが望ましい
目に入った場合	こすらずに15分以上洗眼し、医師の手当てを受ける
飲み込んだ場合	すみやかに医師の手当てを受ける

5. 火災時の措置

消火剤	大量の水、化学消火剤、泡消火剤
特定の危険有害性	常温では引火しないが、燃焼時には分解して塩酸ガス及び炭素酸化物を発生する
消火方法	火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。初期の火災には消火剤（粉末、二酸化炭素、乾燥砂等）を用いて消火する。大規模火災の際には泡消火剤などを用いて、空気を遮断する事が有効である。周囲の設備には延焼を防止するために、散水して冷却する。火災の発生した場所の周辺にはロープを張るなどして、関係者以外の立ち入りを禁止する。
消火を行う者の保護	消火作業は、塩酸ガスの吸入を避けるため風上より行い、空気呼吸器又は防毒マスクおよび不浸透性の保護衣などを着用する。

6. 漏出時の措置

漏出の可能性はない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱者の暴露防止	切断端面で手の皮膚などを傷つけないように革手袋などの保護手袋を着用する。包装容器は転倒、落下、衝撃を加えたり等の粗暴な取扱いをしない。
保管上の注意事項	製品の品質を保つため直射日光、水濡れ、高温多湿などの環境を避ける事。所定の段数以上の積載を行わない事。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度	制限を受けない
設備対策	特に必要なし
保護具	
呼吸器などの保護具	特に必要なし
手の保護具	手を傷つけるのを防止するために、革手袋などの保護手袋を着用する。
目の保護具	特に必要なし
身体の保護具	暴露の状況を考慮し、適切な保護具、安全靴などを着用する

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態	粘着材と鋼板とシリコーン処理紙で構成されたシート
色調	
鋼板	灰色を基本とする
粘着材	黄白色を基本とする
シリコーン処理紙	白色を基本とする
臭気	若干臭気あり
分解温度	150℃以上

10. 安定性、反応性

安定性、反応性	通常の状態・条件で化学的に安定
引火点	なし
可燃性	難燃性樹脂
発火点	なし
発火性（自然発火性、水との反応性）	なし
酸化性	知見なし
自己反応性・爆発性	特になし
危険有害な分解生成物	通常のパッケージング条件下では発生なし。150℃以上で徐々に塩酸ガスを発生する。

11. 有害性情報

刺激性	知見なし
急性毒性	知見なし
感作性	知見なし
亜急性毒性	知見なし
がん原性	知見なし
変異原性	知見なし
生殖毒性	知見なし
催奇形性	知見なし

12. 環境影響情報

分解性	知見なし
蓄積性	知見なし
生態毒性	知見なし

13. 廃棄上の注意

決して投棄してはならない。基本的には法的に許可を受けた廃棄物処理業者に委託する。空容器を廃棄するときには、内容物を完全に除去した後に処分する。

1 4. 輸送上の注意

国際規制によるコード及び分類に関する情報 特になし

輸送の特定の安全対策及び条件

- ・ 道路交通法、船舶安全法の法規を遵守しなければならない
- ・ 輸送の場合は、方財に破損がない事確かめ、衝撃、転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う
- ・ 積載時、エンジン付近などの高温になる場所には、断熱材を挟む
- ・ 直射日光および雨に直接さらされる事を避ける
- ・ 所定の段数以上の積載を行わない

1 5. 適用法令

消防法

適用を受けない

労働安全衛生法

鋼板および安定剤（錫化合物）に適用される

P R T R 法

安定剤（錫化合物）に適用される

1 6. その他の情報

建築基準法における不燃材料である（N M O 7 6 7）

記載内容の取扱い

記載内容は当社が現時点で入手できる最善の情報に基づくものですが、物理化学的性質、危険性などについては、いかなる保証をなすものではありません。従って、この情報は新しい知見及び試験などによって改正される事があります。

また、注意事項は通常取扱いを前提としたもので、特殊な取扱いの場合には、用途や用法に適した安全対策の上、ご使用下さい。